

(学年) 第1学年、(教科・科目) 公民科・公共

一斉学習

(単元) 今日の国際社会～ウクライナ情勢を考える～

(本時のねらい)

公共の授業では毎時間授業の冒頭10分前後で時事問題の解説をしている。このたびのロシアによるウクライナへの侵攻は、今後の情勢如何では私たちの生活にさらなる影響をもたらす可能性がある。教科書に記載はないが、生徒が知っておくべきことだとの思いから、教科書から発展した形で学習させ、時事問題に対する関心や知識を持たせたい。

(ICT活用方法)

ウクライナ情勢に関する報道を見せ、航空機追跡アプリや地図サイトを用いて具体的なイメージを生徒に持たせることで、紛争をもたらすさまざまな問題について考える力をつけさせたい。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	ICT活用方法
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> 今起きているニュースを確認する。 キーワードを聞いて、説明できる場合は挙手する。 	<ul style="list-style-type: none"> キーワードを重ねながら説明できるかどうかを生徒に発問する。 	<ul style="list-style-type: none"> ブラウザの画面のトップニュースを提示する。 身近な問題と、単元に関連した問題について質問するように留意する。
展開 25分	<ul style="list-style-type: none"> 教科書に記載がないので、地域紛争のページを開ける。 ウクライナとロシア、関連諸国の位置関係を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域紛争は世界の各所で発生していることを知らせる。 航空機の航跡が意味することを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地図サイトでロシア・ウクライナ・ベラルーシ・トルコ・フィンランドなどの位置関係を確認させる。 航空機追跡アプリを利用して、航空機が飛ぶ場所と飛ばない場所にはどのような違いがあるのかを理解させる。
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> 次時の予告を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 次時の予告をする。 	

(授業の様子)



導入のニュースで発問



航空機追跡アプリ

(生徒の反応と課題，改善を要する点)

年度当初、時事問題に関しては詳しい生徒はほとんど知っているが、知らない生徒は関心・知識ともに皆無でほとんど発言もない状況であったが、10ヶ月の積み重ねで、キーワードだけで知っていると挙手したり意見を述べたりする生徒が増えている。

航空機追跡アプリを使い、時々ウクライナ上空を見ているが、飛行機が飛んでいないエリアが徐々に増える等、事態の深刻化が見てとれて、生徒たちは関心を持っている。